

令和初の 第13回悠飛祭迫る！

11月2日(土)まであと少し、いよいよ悠飛祭が迫ってきました！真夏に始まった準備も、肌寒くなる中終わりを迎えようとしています。各部門ラストスパートで毎日朝早くから夜遅くまで頑張っています。

今年のテーマは「つなぐ」です。これまでの伝統をつなぎ、学生同士や地域の人々とのつながりを作るきっかけにしたいという思いが詰まったテーマです。しかし新しい挑戦をしようとする時にはそれぞれの思いや考えがぶつかる時もあります。

それらを乗り越えて、当日は学生も来場者の方々も笑顔あふれる学園祭となることを期待しています！

また、今年もたくさんの企業や個人の皆様に御協賛いただき悠飛祭を開催することが出来ます。ありがとうございました。

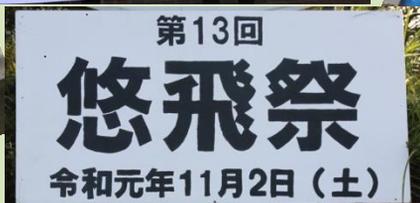


11月号



NO.55
担当:尾崎

第13回悠飛祭 Photogenicな？ 準備の様子





保育実習が終わりました



9月30日～10月16日まで幼児教育学科3年生が保育実習を行いました。

3回目の実習ということで準備をしっかりと落ち着いて臨めたようです。どういう言葉かけをすれば子ども達に伝わるかをじっくり考え、展開にも気を配って活動を行う様子が見えて成長を感じました！

上手くいった部分、上手くいかなかった部分は勿論あると思いますがそれらを踏まえて改善し次の実習に活かしてください！



11月の予定

- 1日（金）悠飛祭準備
- 2日（土）悠飛祭・第7回オープンキャンパス
- 5日（火）悠飛祭片付け
- 13日（水）レポート締切
- 16日（土）科目終了試験・第8回オープンキャンパス
- 24日（日）第4回入学選考試験



前向きでありたい

文責 高木

甑を墮して顧みず

（甑・・・古代中国の米などを蒸す土器）

漢の孟敏が、甑(こしき)を落としたのに振り向きもせず、立ち去った。そばにいた郭林宗が訳を聞くと、すでに落としたもの、こわれてしまったものを振り返ってなんの益があるかと答えた故事。

～あきらめのよさを表したたとえ～

人前に立つことの多い教師を長年やっていると、座右の銘なるものを聞かれたり、区切り区切りにメッセージを書かされたりする。

私は中学校以降、競技スポーツに、長く関わってきたこともあって、その都度ついつい力んで生きてしまったような気がしている。

従って「頑張らない」「力まない」言葉はないかと探して、長年上記を好んで使ってきた。書いてきた。

あきらめのよさを表したたとえであるが、過去を悔いず、否定せず常に前向きであれとの先人の格言と私は捉え、一番好きな言葉である。